



Press Information

VPR21-006

2021年2月9日(火)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン 新型『ゴルフ』 先行受注を開始 **3月31日までの期間限定でスペシャルキャンペーンを展開** **新型「ゴルフ」の魅力を伝えるティザーサイトも公開**

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役:ティル シェア、本社:愛知県 豊橋市、略称:VGJ)は、年内に国内発表を予定している新型『ゴルフ』の先行受注を本日より全国のフォルクスワーゲン正規ディーラーにて開始します。同時に、本日から3月31日(水)までの早期にご予約いただいた方全員に、オプション費用をサポートするスペシャルキャンペーンを展開いたします。

本日より開始するキャンペーンは、全国のフォルクスワーゲン正規ディーラーにて、新型『ゴルフ』を3月31日(水)までにご予約いただいた方全員に、オプション費用のサポートとして5万円をプレゼントさせていただくものです。さらに、新型『ゴルフ』を早期にご予約いただいた方の中で、現在お乗りのお車が4月末までに車検を迎える方については買い替えを前提として、オプション費用のサポートとは別に車検費用のサポートとして10万円をご提供いたします。

「ゴルフ」は、1974年(日本販売開始は1975年)に初代が発売されて以来、45年以上に亘り3,500万台以上が生産されている世界的なベストセラーカーで、日本にもシリーズ累計で約90万台以上が輸入・販売されています。2013年に導入した現行モデルは、輸入車ブランドとして初めて日本カー・オブ・ザ・イヤーにも選ばれるほど、日本で最も親しまれている輸入車の一つです。

新型『ゴルフ』は、「デジタル化」「電動化」「運転支援システム」において大幅な進化を遂げました。「デジタル化」においては最新のデジタル技術を投入し、クラスを超えたデジタルインターフェースを採用しています。10.25インチの液晶ディスプレイを採用したデジタルメータークラスター“Digital Cockpit Pro”を全車に標準装備し、そのすぐ横にインフォテイメントシステムを配置する事で、視認性を高め、スッキリとしたコックピットを実現しています。「電動化」においては、フォルクスワーゲン初となる48Vマイルドハイブリッドシステムを採用し、モーターのアシストによってスムーズな発進や加速を実現。「運転支援システム」においては、ドライバーが運転中に意識を失うなど、万が一の事態が発生しても安全に車両を停止させる緊急時停車支援システム“Emergency Assist”などフォルクスワーゲン初の最新テクノロジーが採用され、クラスを超えたハイレベルな運転支援が可能となり、安全性をさらに高めています。

日本に導入する新型『ゴルフ』は、排気量1.0Lのマイルドハイブリッドシステムを採用した「eTSI Active」、排気量1.5Lのマイルドハイブリッドシステムを採用した「eTSI Style」「eTSI R-Line」の3グレード展開です。ボディカラーは新色のライムイエローメタリックを含む全8色からお選びいただけます。より低く、伸びやかで、ダイナミックにデザインされた新型「ゴルフ」は、現行モデル同様に使いやすさにこだわったボディサイズを実現しています。

VGJでは、より多くの人に新型『ゴルフ』の魅力を知らってもらうため、新型『ゴルフ』ティザーサイトを本日より公開する他、全国のフォルクスワーゲン正規ディーラーでは、新型『ゴルフ』の特徴を解説するスペシャルティザーリーフレットを配布いたします。

新型『ゴルフ』ティザーサイト

<https://sp.volkswagen.co.jp/the-new-golf>